

令和8年度
広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系）
多文化・グローバル教育学プログラム

小論文問題

実施期日：令和7年11月20日（木）
試験時間：9時30分～12時00分（2時間30分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を含めて5枚、解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答は解答用紙の指定の場所に記入してください。
5. 解答用紙は室外へ持ち出してはいけませんが、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
6. 机上には、本学受験票、配付した問題冊子等、黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー或は学習タイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）のほかは置くことができません。

令和8年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 多文化・グローバル教育学プログラム
小論文問題

【問1】

以下の「ことばにかかわる包摂^{*1}と排除」についての文章を読み、多様な立場と主義・主張を踏まえ、日本の社会と学校教育における多文化共生の現状と課題について、具体的な事例を挙げながらあなたの考えを述べなさい。（400字以内）

著作権保護の観点から、公表していません。

*1) 包摂…経済・文化・政治・社会的な仕組みの中で、人々が平等に参加し、関係を築き、尊重されるよう
にする社会的過程のこと。

令和8年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 多文化・グローバル教育学プログラム
小論文問題

著作権保護の観点から、公表していません。

図1 日本語をめぐる包摂と排除の4類型

(かどやひでのり (2023), 「ことばをめぐる包摂と排除」, 『ことばと社会』, 25号, 三元社, 10-11頁より
抜粋・一部改変)

【問2】

以下の「平和教育の課題」についての文章を読み、筆者が述べる「3つの乖離」についてあなた自身の課題認識を整理したうえで、直接的な戦争のみならず日常に現れる様々な暴力をなくし、平和をつくる主体を形成するために、今後どのような教育を行う必要があるか、あなたの考えを述べなさい。(400字以内)

著作権保護の観点から、公表していません。
(中略)

令和8年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 多文化・グローバル教育学プログラム
小論文問題

著作権保護の観点から、公表していません。

(竹内久顕 (2024), 「今日の平和教育の課題と展望 —戦争の“リアルさ”をめぐる考察—」, 日本国際理解教育学会紀要『国際理解教育』, Vol.30, 明石書店, 26–27 頁より抜粋・一部改変)

【問3】

Why do we have an interest in education in developing countries, and what is the significance of Japan's international cooperation in education? Read the passage below and write your own opinion in 200 words in English. You may write a positive opinion, or a critical or negative one, but please explain the reasons why you think so.

著作権保護の観点から、公表していません。

令和8年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（I型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 多文化・グローバル教育学プログラム
小論文問題

著作権保護の観点から、公表していません。

*1) Official Development Assistance (ODA) 政府開発援助

*2) humanitarian aid 人道援助

(小松太郎 (2016)『途上国世界の教育と開発－公正な世界を求めて』、上智大学出版、5 頁に基づき、CEFR
※
の B1 レベル相当となるように書かれた英文です。)

※出題時の表記「CEFAR」から「CEFR」に訂正